

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 30日

静岡市長 難波 喬司 殿

提出者

住 所 静岡市清水区松原町5番12号

氏 名 日軽産業株式会社

代表取締役 星 直之

電話番号 054-353-5276

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日軽産業株式会社 本社
事業場の所在地	静岡市清水区松原町5番12号
計画期間	平成5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

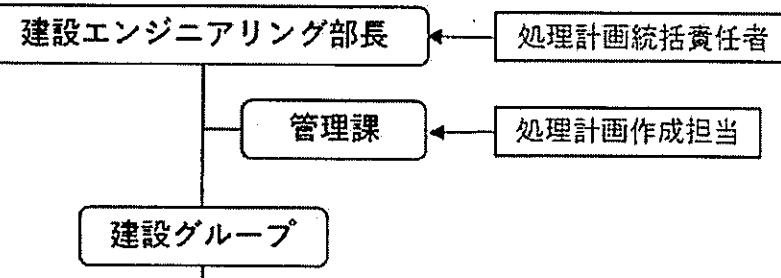
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高（前年度実績） 7,992百万円
③従業員数	238名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本産業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙1-1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
排 出 量		t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】 別紙1-2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
排 出 量		t	t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず・プラスチック・木くず： 発生した段階で分別し混廃を減らすようにしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年度同様発生した段階で分別し混廃をへらすよう推し進める。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—t	—t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	—t	—t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—t	—t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	—t	—t
(これまでに実施した取組)			—
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	—t	—t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	—t	—t
(今後実施する予定の取組)			—

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和4年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	—t	—t
	(これまでに実施した取組)		
—			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	—t	—t
(今後実施する予定の取組)			
—			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和3年度）実績】 別紙2-1のとおり	
①現状	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】 別紙2-2のとおり	産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄				

産業廃棄物処理の抑制に関する事項(現状)

【前年度(令和4度)実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず
排出量	996.68t	212.50t	8.00t	17.82t	17.68t	5.70t	0.20t	1.20t	163.88t	0.26t
産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	塗装混合液廃物(安定)	瓦礫混合物等(修理)	石綿含有産業廃棄物	廃石綿等	木製用具瓦斯系燃焼物	燃えがら	廢油	引火性廢油	廃アルカリ
排出量	92.70t	4.10t	51.90t	290.69t	24.90t	0.05t	1.14t	0.93t	0.09t	0.04t

これまでに実施した取組

- 工事施工計画に基づき、余分な材料の発生を防ぎ、廃棄物の抑制を行っている。
- 工事現場での廃棄物発生段階で分別し混雑を減らすようにしている。
- 納品業者と打合せを行い、梱包材は最小限のものとし梱包による廃棄物の抑制を行っている。

産業廃棄物処理の抑制に関する事項(計画)

【標題】

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設汚泥	紙くず
排出量	2,000t	150t	10t～	10t	15t	3t	30t	1t
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	建設混合廃棄物(安定)	石綿含有産業廃棄物(管理)	廃石綿等	水銀使用製品産業廃棄物	
排出量	130t	1t	50t	5t	50t	120t	10t	0t

今後実施する予定の取組

- ・工事施工計画に基づき、余分な材料の発生を防ぎ、廃棄物の抑制を推し進める。
- ・工事現場での廃棄物発生段階で分別し混雑を減らすよう推し進める。
- ・納品業者と打合せの上、梱包材は最小限のものとし梱包による廃棄物を減らす。

産業廃棄物処理の委託に関する事項(現状)

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物処理の委託に関する事項(計画)

櫻
III